

「創造的復興」の理念を活かしたウクライナ支援検討会の設置

阪神・淡路大震災からの復旧・復興の過程で生まれた“よりよい社会をつくる”という「創造的復興」の理念を、現在、戦時下にあるウクライナのまちの復興や地域社会の再生などに活かし、兵庫だからこそできる提言等を行うため、有識者等による検討会を設置する。

作成年月日	令和5年3月29日
作成部局	危機管理部 防災支援課

1 委員・ゲストスピーカー

【委員(9名)】

分野	氏名・団体名	所属
ウクライナ	岡部 芳彦	神戸学院大 教授
	花村カテリーナ	関西看護医療大 助教
創造的復興	越山 健治	関西大 教授
	河田 慈人	県立大 客員研究員
こころのケア	加藤 寛	県こころのケアセンター長
	花村カテリーナ(再掲)	関西看護医療大 助教
学校教育	諏訪 清二	県立大 特任教授
支援団体	JICA関西(木村所長)	
	県国際交流協会(水口理事長)	
	人と防災未来センター(河田センター長)	

【ゲストスピーカー(6名)】

回	分野	氏名	所属
第1回	ウクライナ	セルギー・コルスンスキー	駐日ウクライナ大使
	創造的復興	五百旗頭 真	ひょうご21C研究機構 理事長
第2回	創造的復興	河田 恵昭	人と防災未来センター長
	こころのケア	神原 咲子	神戸市看護大 教授
第3回	創造的復興(現場)	伊東 正和	久二塚商業協同組合 理事長
	ウクライナ	ナディヤ・ゴラル	神戸学院大 客員教授

※今後、芸術文化等、議論の展開を踏まえ、適宜、ゲストスピーカーを追加する可能性あり。

2 検討会のスケジュール(予定)

- ◆ R5.3.22 「創造的復興」の理念を活かしたウクライナ支援検討会の設置
- ◆ R5年度、全5回開催、年度内に提言を完成
- ◆ 県民向けシンポジウムを開催(R5.12)
- ◆ 2025年大阪・関西万博において、支援の成果を国内外に発信
- ※ 戦況等により予定変更の可能性あり

回	時期	内容
第1回	4月下旬	ウクライナ情勢
第2回	5～6月	創造的復興の経験と課題
第3回	7～8月	基本方針・骨子案
第4回	11～12月	提言案 中間とりまとめ
シンポジウム	12～1月	提言案 中間とりまとめの報告等
第5回	3月	提言案 完成

【問い合わせ先】危機管理部防災支援課防災企画班 電話：078-362-9870(内線5352)